

フロスト&サリバン主催のインテリジェント・モビリティ（2020年）におけるグローバル調査の報告

【概要】

本調査では、世界のモビリティ市場の現在および将来の状況に焦点を当てています。コネクティビティ、新しいモビリティ、電動および自動運転技術、デジタル小売、ラストマイル配送に関する顧客の嗜好を取り上げ、現在および将来需要が見込まれるソリューションについての考察を提供しています。対象地域はグローバルです。

【内容一覧】

フロスト&サリバン主催のインテリジェント・モビリティ（2020年）イベントの概要

- 価値の提供
- KPI と結果
- スポンサーのブースと資料
- 参加者とパートナーの声

調査の目的と手法

コネクティビティ

- 5G 対応のテレマティクスコントロールユニット（TCU）導入が求められる使用事例
- コネクテッドカーエコシステムの主な投資分野
- 車両使用状況データが求められる使用事例
- 世界の年間コネクテッドカー販売：2030年
- 収益性の機会
- 顧客の支払い意欲の高いオンデマンド機能
- OEM における主要な OTA アップデートの考慮事項
- OEM における収益性の高いコネクテッドカーサブスクリプション
- 2025年までに人気を博す HMI テクノロジー
- 主要なヘルス、ウェルネス、およびウェルビーイング：顧客にとっての価値促進要因

新しいモビリティ

- 配車セグメントにおける電気自動車：2030年
- 2030年までのカーシェア利用の見込み（人口における割合）
- 今後リモートワークが定着すると仮定した場合、人口におけるリモートワークの割合
- 通勤形態の変化が顧客に与える影響
- パンデミック後に最も牽引されるとされる輸送モード
- 共有モビリティ事業者の主な重点分野
- パンデミック後に最も成長されるとされるモビリティソリューション

電動および自動運転技術

- 世界の電気自動車販売予測：2030年
- 電気自動車の総保有コストが内燃機関と同等または上回る時期の予測
- 自動車メーカーのリチウム電池コスト：2025年
- 今後7~8年で大幅な採用が見込まれる電池化学材料

- 燃料電池車の最適なアプリケーション
- 商用車セグメントにおける燃料電池の市場浸透：2030 年
- 主流になる電動化ソリューション：2050 年
- 公共利用のロボタクシーの展開：予想されるタイムライン
- 自動運転車の普及：2025 年
- タクシー会社が所有する自動運転車

デジタル小売

- オンライン販売の車両のシェア：2025 年
- 自動車小売業の主な動向
- デジタル化で最も影響を受けるカスタマージャーニーの工程
- 顧客がオンラインの固定車両価格を受け入れる可能性
- 意思決定における最も影響力のあるイニシアチブ
- 最も注目を集めているデジタルフォーマット

ラストマイル配送

- 最適なアーバンラストマイル配送モデル：2025 年
- 無人航空機によるラストマイル配送のシェア：2030 年
- ラストマイル配送事業者の優先事項：2025 年
- 顧客が好むラストマイル配送オプション：2025 年
- 配達速度を上げるためのソリューション
- ラストマイル配送に最も影響を与えるテクノロジー：2030 年次へのステップ